

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|------------|----|--------|------------|
| ○事業所名 | ぷらむ | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年12月1日 | | ～ | 2026年1月15日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 16 | (回答者数) | 11 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年12月1日 | | ～ | 2026年1月15日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 18 | (回答者数) | 12 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年1月23日 | | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 入浴支援(当日に利用するすべての利用者がゆっくり入浴できる取り組み) | 入浴時に利用者をよく観察して、傷やあざなどの変化に敏感になれるように心がけている。 浴場や着替えのスペースが限られているので、プライバシーに十分に配慮しつつ、効率的な配置と動きを工夫している | 個々の利用者さんごとに特に注意を向けるべき部分があるので、職員間で密に情報共有している。 |
| 2 | 医療的ケアが必要な利用者への支援が充実している | デイの時間帯には常時2～3人の看護職員で見守るようにしている。特別支援学校でも働く看護職員を積極的に雇用し、保護者の信頼を得ている。 | 介護職員による喀痰吸引の研修を行い、医療的ケアが必要な時に迅速で適切な対応をすることができるようにする |
| 3 | 落ち着いて開放感のある、デイのスペース | 利用者さんに手伝ってもらいながら、季節に合わせた工作や飾りつけなどを行い、デイのスペースを楽しく、過ごしやすい場所に行っている。 | |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 他事業所や地域との交流が少ない | 学校があるときは、入浴で時間がとられる都合上交流する時間をとることが難しい。 | 同じ建物内の生活介護事業所との連携をまず進めていく。 長期休暇などの時間を多めにとれる時を利用して、前もって計画しつつ地域参加をできるようにしていきたい |
| 2 | 支援終了後の職員ミーティングの時間 | パートタイムの職員がほとんどであるため、支援終了時まで残っている人が少ない(送迎に出て帰りが遅くなるケースも有り) | 残ったメンバーでしっかりとミーティングをして、内容を次回の支援前の時間帯に共有していく。 |
| 3 | | | |